

Citizen Science Project

高齢者の社会参画を促進する方法を検討するための、 人との繋がり状況の調査

医療費及び介護費の抑制や、孤立や孤独の解消に抜本的に取り組むことは自治体の喫緊の課題となっています。健常層の高齢者が要介護者になる主な理由に、家からあまり出なくなり心身機能が低下する廃用症候群があります。現在、軽度の要介護者へのサービス提供が介護施設側から自治体や地域包括支援センターに移行しており、健常層の高齢者が軽度、重度の要介護者にならないために、介護保険費用削減の観点から、自治体は高齢者の社会参画を促進する取り組みに注目しています。そのため、高齢者の人との繋がり状況を把握することは、社会参画を促進する方法の検討に繋がる重要な調査テーマです。

このたび、株式会社三菱総合研究所と日本心理学会は、高齢者を対象としたアンケート調査を行い、高齢者の社会参画状況を把握し、社会参画を促進する方法の検討に繋げるための調査を行うこととしました。

超高齢社会を幸せに生きる人生100歳時代を実現するために不可欠です。これはSDGsのゴール3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」に資する取り組みです。しかしながら、これらのアンケート調査に回答可能な高齢者は、既に一定の繋がりが保たれた、比較的社会参画が可能な高齢者です。そのため、高齢者の社会参画状況を正確に把握することが困難となっています。高齢者の社会参画状況を正確に把握するためには、地域社会に溶け込んだ認定心理士の皆さまの草の根的なネットワークを活用した精緻な調査が必要です。ぜひ、ご協力をお願い申し上げます。

参加のメリット

- 全国のアンケート回答を集計した調査結果が共有されます
- 高齢者の社会参画促進を検討するセミナー・勉強会等に参加できます

申し込みの締め切り：**2020年9月27日（日）**

ご協力の謝礼として1,000円分の図書カードネットギフトをお送りします

Citizen Science Project

高齢者の社会参画を促進する方法を検討するための、 人との繋がり状況の調査

下記のステップに従い、本研究へのご協力をお願いいたします。

Step0 申し込み

- 日本心理学会[シチズン・サイエンスプロジェクト](#)のHPから**9月27日まで**にお申し込みください。
- お申込みいただいた認定心理士の皆様のもとに、郵送でアンケート用紙が届きます。

Step1 対象選定

- アンケート調査対象者は**65歳以上**の高齢者です。
- ご両親、友人、その経由で紹介いただく方など、**1~6名**に調査への協力をお声がけください。

Step2 調査実施

- 基本的には、高齢者に電話またはオンラインアプリケーションなどの方法で趣旨説明およびアンケート調査を行います。アンケート項目を電話等で回答していただき、認定心理士の皆様がアンケート用紙に記入します。
- 可能であれば趣旨説明およびアンケート調査を、対面で行うこともあります。その場合、回答者がアンケート用紙に回答を記入します（※1）。対面で行う場合には、必ず、新型コロナウイルス感染症対策（※2）を行ってください。

Step3 結果送付

- 同封されている返信用封筒に入れて、**11月30日まで**に回答済みのアンケート用紙をポストに投函してください。

（※1）高齢者に電話で回答していただいた場合には、その内容を記載後すぐに、あるいは直接回収する場合には回収後すぐに、いずれも封筒に入れて密封してください。

（※2）対面で行う場合には、調査前に認定心理士自身が、「発熱がない（37.5℃以下）、咳・のどの痛み・鼻水・倦怠感・味覚や嗅覚の異常等の症状がない、新型コロナウイルス感染者との濃厚接触がない」ことなどを確認したうえで、さらに三密を避け、感染予防対策（2mの距離、マスクやフェイスシールドの着用、手指消毒等）をとって実施します。また、研究対象者である高齢者にも同様の対策をとって参加していただきます。